

氷見市議会企画総務委員会会議録

令和3年12月10日(金)

氷見市庁舎議事堂委員会室

開会 午前 9時58分

閉会 午前11時24分

- 1 案 件 令和3年12月定例会において企画総務委員会に付託されたもの
- 2 出席委員 6名
積良委員長、竹岸副委員長、正保委員、萩山委員、谷口委員、嶋田委員
- 3 委員外議員 小清水副議長
- 4 職務のため出席した事務局職員 串田事務局長、舛田事務局次長
□
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
林市長、篠田副市長、東軒企画政策部長、萩原秘書広報課長、栗屋地域振興課長、布尾新文化施設建設室長、森田総務部長、中尾総務課長、出戸財務課長ほか関係職員
- 6 傍 聴 人 2人
- 7 付 託 議 案 別紙付託案件表のとおり
- 8 経過及び結果
 - ・積良委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、いずれの案件も全会一致をもって原案を可とすることに決した（主な質疑応答は別紙のとおり）。
 - ・委員会報告の作成は委員長に一任された。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和3年12月10日

氷見市議会企画総務委員長

積良 岳

令和3年12月企画総務委員会付託案件表

令和3年12月10日(金)午前10時
氷見市庁舎議事堂委員会室

- ◎ 秘書広報課 9:58~
 - ・ 議案第67号 令和3年度氷見市一般会計補正予算(第7号)中
秘書広報課所管に関する事項……………説明書P 26

- ◎ 地域振興課 10:06~
 - ・ 議案第67号 令和3年度氷見市一般会計補正予算(第7号)中
地域振興課所管に関する事項……………説明書P 26

- ◎ 新文化施設建設室 10:15~
 - ・ 議案第67号 令和3年度氷見市一般会計補正予算(第7号)中
新文化施設建設室所管に関する事項……………議案書P 8
 - ・ 議案第75号 氷見市芸術文化館の指定管理者の指定について……………議案書P 34

- ◎ 総務課 11:01~
 - ・ 議案第67号 令和3年度氷見市一般会計補正予算(第7号)中
総務課所管に関する事項……………説明書P 46
 - ・ 報告第25号 地方自治法第179条による専決処分について……………議案書P 35

- ◎ 財務課 11:10~
 - ・ 議案第67号 令和3年度氷見市一般会計補正予算(第7号)中
財務課所管に関する事項……………議案書P 4

(注) 一般会計における給与費は総務課、繰出金は財務課の所管です。なお、財源補正及び節区分補正に係る説明は不要です。

主な質疑応答

<p>秘書広報課 正保委員</p> <p>萩原課長</p> <p>正保委員</p> <p>萩原課長</p> <p>正保委員</p> <p>萩原課長</p>	<p>デジタル化推進事業費について 事業期間が来年の3月までと期間が短い中で、この外部人材のプロポーザルの予定者はいるのか。</p> <p>決まっているものはない。IT コンサルや通信事業者などから応募をいただいて事業者を決めていきたいと考えている。</p> <p>残り3ヶ月の中で、1000万円近くの事業費を活用し、大事なデジタルトランスフォーメーションの事業推進の目標になるものだと思うが、この期間で本当にできるのか。</p> <p>必要なことであり、外部人材の力をお借りして、短期集中的に実施したいと考えている。</p> <p>方向性が導かれるように努力していただきたいのだが、3ヶ月でどういう報告を形ができるのか。ちょっと不透明な部分がある。議会に中間報告等々するような形をとって、事業進捗状況をしっかり進めていっていただきたい。</p> <p>しっかりと説明していきたい。</p>
<p>地域振興課 谷口委員</p> <p>栗屋課長</p> <p>谷口委員</p>	<p>生活路線バス維持対策事業費について。 バスの実態として、乗車率の傾向はどうなっているか。</p> <p>実際の人数というのは把握していない。収入を見ているのだが、4月から高岡市内で賃上げもあったが104.4%と伸びている。</p> <p>免許返納があって高齢者の乗降が増えていることもあるのかなと思った。人口が減っていて厳しいと思う。</p>
<p>新文化施設建設室 谷口委員</p> <p>布尾室長</p>	<p>芸術文化館備品整備事業費（債務負担行為）について。 ピアノは国産か外国産か。外国産の方が価格は高くなるのではないか。</p> <p>外国産を想定している。コンサートピアノとして2,500万円を見ている。一流の演奏家に選ばれる施設として一流のものを備えたいし、県内類似施設も14か所中11か所が外国産を所有している。稼働率を想定したことや、氷見の子どもたちに一流のものに触れさせたいことから外国産と</p>

	した。
谷口委員	市として地元産へのこだわりがありながら、国産にこだわらなかった理由は何か。
布尾室長	コンサートやピアニストの招聘においては、外国産のピアノを要望されると聞いており、音楽家を呼ぶためには揃える必要がある。外国産ピアノを2台持つところもあるが、氷見市では旧市民会館で使っていたもの1台をサブとして使いたい。
萩山委員	一流に触れる情操教育も必要である。高いものを買う価値が求められる。リースした場合は何回ぐらいでペイできるといった検討はしているのか。
布尾室長	レンタルした場合1日20万円でリハーサルを入れて2日間、運搬費に10～20万円とすると1回あたり50～60万円のレンタル料がかかる。購入費が2,500万円とすると50回分となる。1年12回程度使うと4～5年で同額程度が必要となる。
萩山委員	購入するからには50回以上を目指して元を取っていただきたい。起債対象となっているが寄付で賄ってはどうか。
布尾室長	ふるさと納税や企業版ふるさと納税の活用や、法人、個人からの寄付を募ることも検討していきたい。
萩山委員	予算化の時には、そのことも盛り込まれた予算になるものと考えていいか。
布尾室長	そのとおりだ。
萩山委員	ピアノ以外の備品のリースは検討したか。
布尾室長	大道具類は、施設として持つべきものと考えている。演目の特殊なものについては、施設ごとに大きさが違うし、リースに対応できる事業者が近隣になく、相談してみたが見積もりも難しいと言われた。
萩山委員	議会には総事業費＝本体工事費と説明されていたが、ナスカは当初の設計には本体工事と備品と分けてあった。なぜ備品の説明が無かったのか。入っていた備品の品目や金額はどれくらいだったのか。
布尾室長	令和2年7月時点で、幕や照明類は想定していたが、その他の備品は運用

	<p>形態によって備えるべき備品が異なり、一般論での概算見積りでは数字がひとり歩きする可能性もあったので議会への説明は差し控えるべきと考えた。同規模の類似施設が2～3億円程度かかっていたので、同程度は必要であろうと思っていた。</p>
正保委員	<p>芸術文化館管理運営事業費（債務負担行為）について。 事業収入の初年度が2,700万円で、2年目から1,560万円に下げた理由は何か。</p>
布尾室長	<p>5年度以降は具体的な想定が出来ていない。チケット代を2～3000円と想定し、800席の6～7割の入込を見込んで事業収入をたてた。</p>
正保委員	<p>音響がいいといった評価があがれば収入も上がるということか。</p>
布尾室長	<p>そうなると思う。</p>
萩山委員	<p>人件費の内訳はどうなっているのか。</p>
布尾室長	<p>スタッフ9名のうち3名が非正規職員で、月額20万円前半で年額350万円、公募の総合プロデューサーが月額67万円で年額920万円、管理職3名は平均して月額30万円半ばで年額700万円代、一般職員は平均して年額600万円弱になると思う。</p>